

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
助産学実習Ⅱ	1	後期	4	実習 180時間
担当教員	久保幸代、志村千鶴子、下睦子			
授業概要	助産学実習Ⅰでの助産ケア実践における自己の課題を明確にし、引き続き分娩介助を中心とした対象への助産ケア実践を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習における自己の課題を明確にできる。 2. 産婦が安全で安楽な分娩介助技術を身につける。 			
履修条件	特になし			
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正常分娩で分娩第1期から分娩第3期終了2時間まで5事例及び正常分娩で分娩第1期から産褥入院期間まで2事例を受け持つ。 ・ 受け持ち産婦の、生理的側面、心理・社会的側面をアセスメントし、必要な助産ケアを実践する。 ・ 受持ち産婦の分娩から産褥までの助産診断とケアの一連の過程を実施・評価する。 ・ 4－10例(内1例は継続事例)目までの受け持ち事例に関し、産婦・褥婦の個別性に応じた助産計画の立案・ケア実施・評価を行う 			
教科書	特に指定しない			
参考書	特に指定しない			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成行動による総合的評価(60%) ・ 実習記録による学習成果(40%) 			
事前・事後学習	<p>事前学習：毎回の助産ケア・分娩介助の課題克服に向けた事前学習・技術練習を行う。</p> <p>事後学習：分娩介助の振り返りを指導者と共に行い、自己の課題を明確にしておく。</p>			
備考	特になし			